

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970500322
法人名	株式会社 いこいの里
事業所名	いこいの里 さくら貝
訪問調査日	平成20年12月9日
評価確定日	平成21年2月25日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970500322
法人名	株式会社 いこいの里
事業所名	いこいの里 さくら貝
所在地 (電話番号)	土佐市宇佐町汐浜2841 (電話)088-828-6668

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内
訪問調査日	平成20年12月9日 平成21年2月25日

【情報提供票より】(平成20年11月15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成16年9月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	27 人	常勤 26(内兼務3)人、非常勤 1人、常勤換算 12.6人	

(2)建物概要

建物形態	併設(単独)	新築(改築)
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	地下1階、地上4階建ての	2 階 ~ 3 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4)利用者の概要(11月15日現在)

利用者人数	27 名	男性	7 名	女性	20 名
要介護1	11 名	要介護2	6 名		
要介護3	8 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	63 歳	最高	97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	岸本内科、海里マリン病院、河合歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

手入れの行き届いた広い芝生の庭、目の前の穏やかな海、対岸の美しい紅葉、恵まれた自然環境が五感を刺激し、生活する者を穏やかな気持ちにしてくれる事業所である。一人ひとりの利用者に係る生活背景、興味、趣味等の情報量が豊富で、何が利用者の役割や楽しみになり得るかを見極め、それに継続的に働きかけることにより、個性のあるきめ細かなサービスを提供している。利用者が、支えあい、活き活きと役割を持って暮らしていることが窺われる事業所である。職員は謙虚で、利用者の暮らしをさりげなく支援している。事業所が海のリゾートホテルであったことから、漁業を中心に生計を立てている地域の中で認知されており、利用者も地域住民として、地域とつながりながら暮らすことが出来ている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 改善課題について、改善計画を立て改善に向けて取り組んでいるが、目標期間が設定されていないなど改善の経過等が明らかでなく、未だ改善されていない課題も残っている。期間を設定し、改善の経過等が判ること、どのように改善に向けて取り組み、なぜ出来なかったのかなど、問題点が明らかになるので、改善の経過が判る改善計画の作成が望まれる。また、未だ改善されていない課題については、母体法人の協力が必要なものもあるので、話し合いを行い、改善に向けて取り組むことを期待したい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者から自己評価の意義やねらい等を説明し、調査結果(詳細)を一人ひとりの職員が記入し、その後各ユニットの管理者が自己評価として取りまとめている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は2カ月に1回開催し、事業所から利用者の現状や行事等の活動報告、自己及び外部評価における改善事項の報告等を行い、参加者からは、事業所の運営に関する意見や要望等はあまり出ないものの、地域の行事について情報提供や事業所の行事等への要望や質問等があり、双方向的な会議となっている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会は、年2回行事を兼ねて開催しているが、苦情、意見、要望等は出していない。家族は、お世話をしてもらっているということもあり、素直な意見を言い難い状況も生まれるということを理解し、家族同士で話し合い、安心して意見等が出せるような環境づくりを行うことが望まれる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 手入れの行き届いた広い芝生の庭園と会議室やホールを開放しており、地域住民が庭でバットゴルフを楽しむなど、住民は自由に入出入りしている。また、事業所が海のリゾートホテルであったことから、漁業を中心に生計を立てている地域の中に溶け込んでおり、利用者は地域の中でたくましく暮らしている。また、交通の便が良く、地域の行事等に招待され、一方、事業所の行事に招待するなど、互いに交流を図っている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 職員全員が月1回行っているユニット会で話し合い、地域密着型サービスとしての独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について、職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 仕事に入る前に理念を読み、意識づけに努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 前回の外部評価を機会に、理念が形骸化しないよう、各ユニットで実践可能な理念を作り、言葉かけや態度など日々のサービスの反映に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域の清掃に利用者と共に参加し、地域の保育園、小学校、中学校、高校等の行事に招待され、また、住民がパットゴルフに来るなど、地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 管理者が自己評価の意義やねらい等を説明し、調査結果(詳細)を一人ひとりの職員が記載した後各ユニットの管理者が取りまとめ、自己評価を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善計画を立て、改善できるものから改善に向けて取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 改善計画は作成しているが、改善に至る経過等が判る内容になっていない。	○	改善の経過等が判ることで、どのように改善に向けて取り組み、なぜ出来なかったのか等、問題点が明らかになることは、次へのステップ、更なる改善に繋がるので、改善の経過等が判る改善計画の作成が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 運営推進会議は2カ月に1回開催し、事業所から利用者の現状や行事等の活動報告、自己及び外部評価における改善事項の報告等を行い、参加者からは、事業所の運営に関する意見や要望等はあまり出ないものの、地域の行事について情報提供や事業所の行事等への要望や質問等があり、双方向的な会議となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 研修会に参加したり、包括支援センターから入居の問い合わせがあったり、事故報告に出向くなど、交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 月1回のユニット便りで利用者の暮らしぶりを伝えており、その際、担当者も近況報告を書き添え、写真も同封している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 職員2人で管理し、毎月通帳のコピーを送付し、家族の来訪時に報告して確認のサインをもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会を年2回開催し、皿鉢を作るなどして、懇談をしているが、意見や要望等は出ていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情や要望は出ていないが、意見が出た場合は直ぐに対応し、スタッフ会などを通じてサービスの質の向上を図るようにしている。	○	家族は、お世話をしてもらっているということもあり、素直な意見を言いにくい状況も生まれるということを理解し、家族同士で話し合い、安心して意見等が出せるような環境づくりを行うことが望まれる。また、介護相談員や第三者委員の導入も検討されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>管理者や残った職員の努力で利用者へのダメージが最小限になるよう配慮しているが、退職者が多く、馴染みの職員が継続的に支える体制とは言い難い。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>新旧職員が重複して勤務できる場合はその間に引き継ぎを行い、無理な場合でも慣れるまで古い職員が担当に回り、スムーズに移行できるように配慮している。</p>	○	<p>管理者や残った職員の努力で、利用者が穏やかな暮らしを継続しているものの、利用者や職員の負担を軽減するためにも、何故退職者が多いのか、事業所個別の背景を探り、対応することが求められる。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>職員は採用の形態には関係なく、希望する研修に積極的に参加している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>月1回の内部研修で研修結果を報告している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>管理者のネットワークを活かして、同業者との交流や研修等の受け入れを積極的に行っている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>家族や居宅の介護支援専門員等から、生活習慣、生活信条、健康状態等の情報を聴取し、本人や家族の意向等も確認している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と介護支援専門員等が対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>料理の好きな利用者から味付けを、手芸の得意な利用者から縫い方を教わるなど、一緒に助け合って生活をしているという思いで日常生活を支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>普段から利用者の思いを聞くことに時間を割き、思いの把握に努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者の生活背景等の情報収集は十分行っており、加えて、利用者との会話に多くの時間を割くことにより、暮らし方の希望や意向を把握するように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>利用者の普段の言動や家族からの要望等を基に、個別性のある介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>毎月1回、本人と職員を交えてカンファレンスを行い、その中で気づきや意見を出し合っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>短期目標3カ月、長期目標6カ月で設定し、見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>変化があった場合は見直し、個別の期間設定を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>訪問看護及び2週間に1回の協力病院の往診により、医療処置を受けながら継続して生活が出来るように努めている。また、協力病院からはいつでも医療処置が受けられる体制にある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>かかりつけ医の受診は家族が対応しているが、困難な場合は職員が支援している。年末年始の外泊時に家族が対応できない場合は職員が送迎するなど、柔軟に支援している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>入居前のかかりつけ医や専門医の受診等、希望に応じて支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>職員が対応した場合は家族に連絡し、家族が対応した場合は確認して、介護日誌、業務日誌等に記載し、職員間でも共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りの指針を定め、同意書をもらい、話し合いも行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>終末期の迎え方については、家族と話し合いはしているが、職員の医療に対する不安、体制等から、看取りを行うまでには至っていない。</p>	○	<p>看取りの指針を定め、家族等の意向を踏まえ、安心して納得した最期を迎えられるよう、職員の看取りの研修を行う等、体制の整備について検討されることが望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 排泄介助については、他の利用者に悟られないよう特に注意している。排泄チャック表も他の利用者の目に触れないように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 スタッフ会で利用者のプライバシーに関する取り扱いや対応について話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 スタッフ会で個人情報保護法について話し合い、徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者から要望が出ることは少ないが、散歩、買い物等、希望があれば、業務を優先すること無く、柔軟に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 できる限り利用者のペースを大切にし、業務を優先することがないように努めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 利用者一人ひとりのできること、興味のあることに応じて、下ごしらえ、配膳、味つけ、後片づけなど、一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 入浴時間は午後を設定し、出来るだけ希望に合わせ、週6日は入浴できる体制を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴は強制することなく、拒否する時は時間をおき声をかけ、気を紛らわしたりして対応している。それでも拒否する時は、清拭で対応する場合もある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 家族との面談や本人との毎日の生活を通じて情報収集を十分行い、利用者一人ひとりのそれぞれの役割を把握しており、利用者はそれぞれの役割を楽しんで行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 職員は、利用者の生活背景等から、何がその人の役割や楽しみごとになるのかを見極め、その中から興味を示したものに働きかけ、新たな役割等ができるよう積極的に関わりを持ち、対応している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 家族同伴で月に1回馴染みの喫茶店に行ったり、理美容院、スーパー等にも出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的にやっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 食材等の買い物、山菜取り、紅葉刈り等、ドライブにも出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出傾向のある利用者は把握しており、職員がそつと後ろからついていくなど、安全に帰宅できるよう見守っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 近隣の住民、消防署、ガソリンスタンドの方などの理解が得られており、過去に、一人で出かけている利用者の連絡をもらったこともある。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 事業所独自の防火訓練は毎月行っており、地震・水害時には、4階へ避難することとなっている。11月に、町内会に回覧板を回し、4名の地域住民の協力を得て、防火訓練も実施している。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 避難路の確保、消火器の定期点検は行っているが、非常用食料等の備蓄がされていない。	○	海に面したこの事業所は、震災時には津波等の災害が想定されるので、利用者の安全、安心のためにも、救援を待つ間の非常用食料等の備蓄が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>毎日食事、水分摂取量をチェックしている。特に水分摂取には注意を払っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>地産、地消に努め、四季の食材を取り入れている。好みの食べ物、飲み物、苦手な食べ物を把握しており、献立に反映できるよう努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>系列グループホームに栄養士はいるが、チェックは受けていない。</p>	○	<p>栄養やバランスの良い食事の提供は、利用者の生活を支える大きな要素であるので、系列グループホームの栄養士等、専門的な観点からチェックを受けることが望まれる。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>各ユニットごとに、それぞれの特色を出し、広い空間にソファ、テーブル、椅子を配置し、利用者が落ち着いて暮らすことができる共用空間にしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>歌詞や写真をさりげなく配置している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>窓から見える対岸の紅葉、海の色等、環境そのものが季節感と五感を刺激している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>使い慣れたタンスやソファなど、一人ひとりの利用者の顔の見える、個性的な居室となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>馴染みの家具等ではないが、生活感を感じることができる居室となっている。</p>		